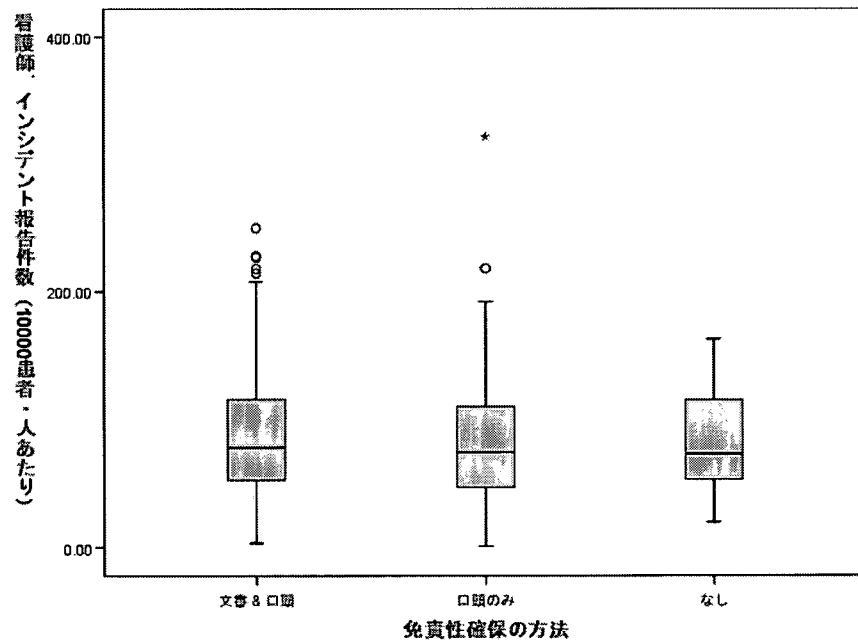


インシデント報告方法

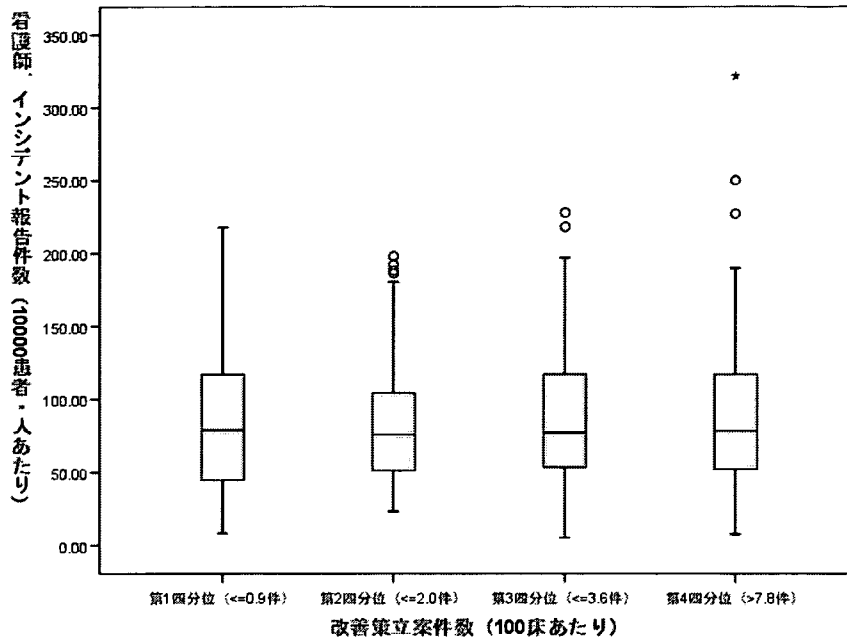
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 オンライン & 選択式	2	76.62	76.62	29.09	56.06	97.19
2 オンライン & 記述・選択式	99	87.11	79.36	46.00	13.84	227.91
3 オンライン & 記述式	3	82.82	44.16	81.75	27.57	176.73
4 手書き & 選択式	11	95.28	77.10	47.31	56.17	188.22
5 手書き & 記述・選択式	151	88.03	76.67	54.26	0.92	321.57
6 手書き & 記述式	24	82.99	78.75	52.26	8.31	207.76
合計	290	87.44	77.16	50.94	0.92	321.57



免責性確保の方法

	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 文書 & 口頭	207	88.86	77.85	50.15	3.23	249.86
2 口頭のみ	65	83.75	74.22	56.11	0.92	321.57
3 なし	22	81.52	72.56	38.03	19.59	162.63
合計	294	87.18	77.06	50.66	0.92	321.57

注: 外れ値の一部は図中に表示していない。



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 第1四分位 (<=0.9件)	62	85.85	78.75	53.34	8.31	217.86
2 第2四分位 (<=2.0件)	62	83.59	75.86	44.74	23.16	197.98
3 第3四分位 (<=3.6件)	60	87.68	77.12	49.47	5.41	227.91
4 第4四分位 (>7.8件)	64	93.04	78.42	58.26	7.65	321.57
合計	248	87.58	77.06	51.57	5.41	321.57

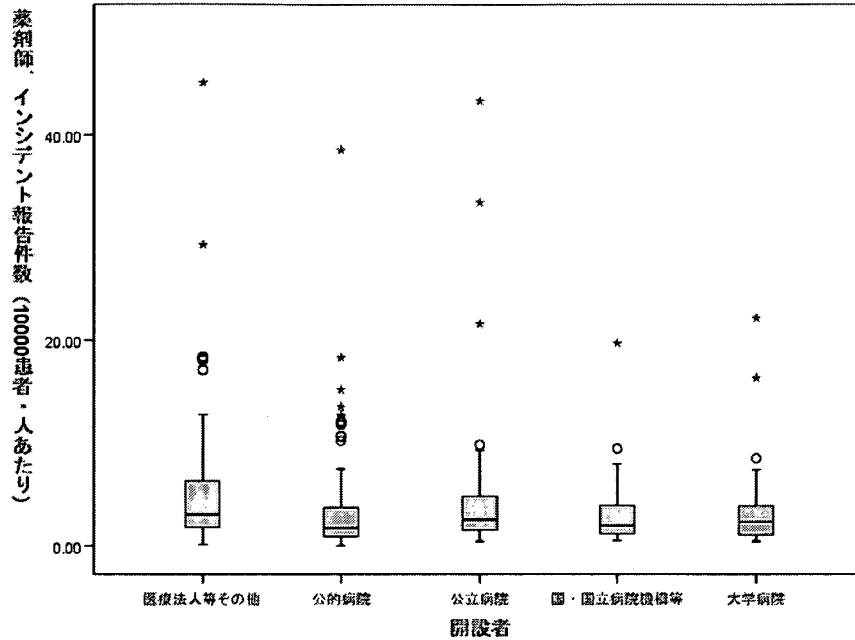
注: 外れ値の一部は図中に表示していない。

(3)

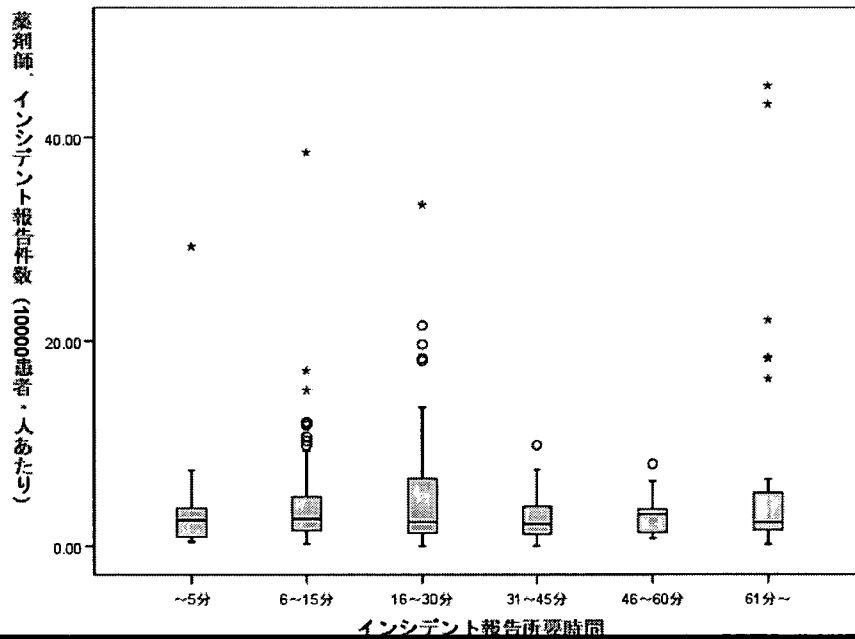
## 薬剤師によるインシデント報告

### 報告デザイン

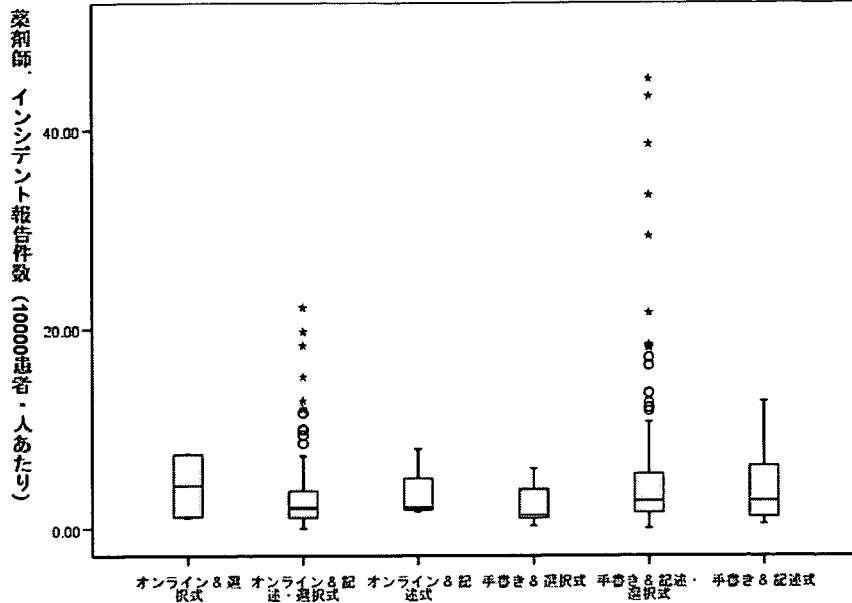
- ✓ 薬剤師によるインシデント報告件数 (10000患者・日あたり)
  - 開設者
  - インシデント報告の平均的な所要時間
  - インシデント報告形式 (媒体 & 報告フォーマット)
  - インシデント報告に対する免責性確保の状況
  - インシデント報告に基づく改善策立案件数 (6ヶ月100床あたり)



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 医療法人等その他	94	5.30	3.05	6.43	0.12	45.08
2 公的病院	81	3.93	1.73	5.71	0.00	38.52
3 公立病院	58	4.53	2.56	7.27	0.40	43.29
4 国・国立病院機構等	30	3.39	1.97	3.89	0.50	19.69
5 大学病院	32	3.56	2.36	4.57	0.42	22.13
合計	295	4.39	2.36	6.03	0.00	45.08

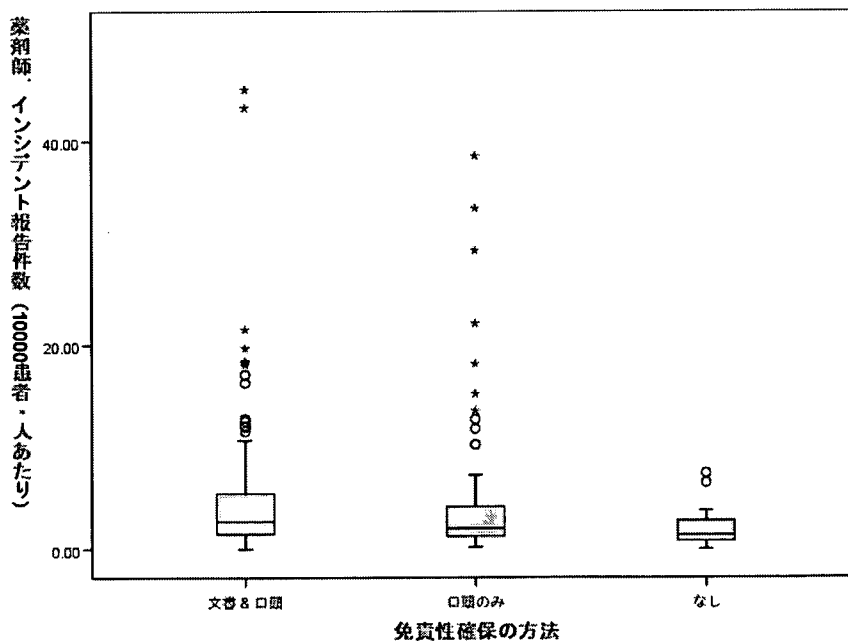


	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 ~5分	9	5.62	2.56	9.13	0.42	29.28
2 6~15分	82	4.09	2.67	5.16	0.23	38.52
3 16~30分	97	4.71	2.35	5.55	0.00	33.40
4 31~45分	47	2.78	2.17	2.21	0.00	9.85
5 46~60分	15	3.05	3.09	2.12	0.75	7.99
6 61分~	32	7.08	2.32	11.29	0.17	45.08
合計	282	4.42	2.43	6.09	0.00	45.08



インシデント報告方法

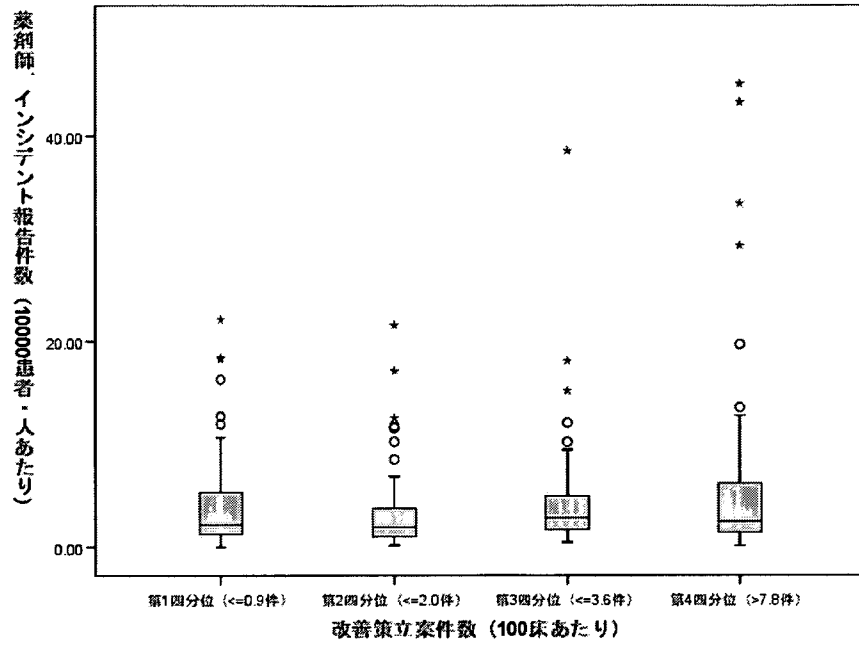
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 オンライン & 選択式	2	4.27	4.27	4.45	1.13	7.42
2 オンライン & 記述・選択式	99	3.45	2.05	4.15	0.00	22.13
3 オンライン & 記述式	3	3.89	2.03	3.52	1.69	7.95
4 手書き & 選択式	9	2.50	1.29	2.21	0.25	5.98
5 手書き & 記述・選択式	152	5.25	2.75	7.44	0.00	45.08
6 手書き & 記述式	24	3.98	2.76	3.39	0.40	12.72
合計	289	4.42	2.42	6.07	0.00	45.08



免責性確保の方法

	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 文書 & 口頭	206	4.43	2.71	5.64	0.00	45.08
2 口頭のみ	65	5.03	2.05	7.81	0.19	38.52
3 なし	22	2.03	1.38	1.90	0.00	7.42
合計	293	4.38	2.36	6.04	0.00	45.08

注:外れ値の一部は図中に表示していない。



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 第1四分位 (<=0.9件)	61	4.24	2.19	4.93	0.00	22.13
2 第2四分位 (<=2.0件)	61	3.55	1.94	4.16	0.17	21.55
3 第3四分位 (<=3.6件)	60	4.45	2.84	5.66	0.46	38.52
4 第4四分位 (>7.8件)	65	5.88	2.48	9.15	0.12	45.08
合計	247	4.55	2.42	6.36	0.00	45.08

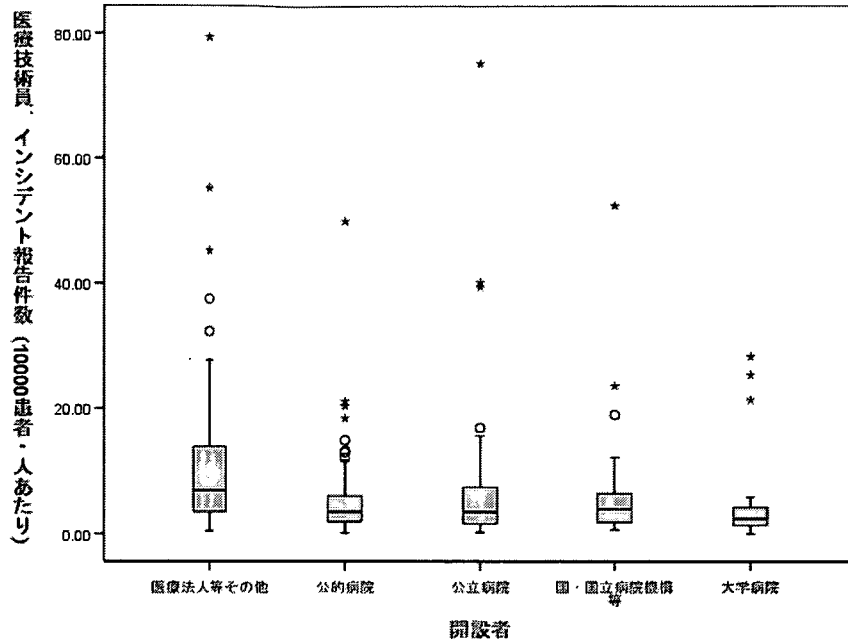
注:外れ値の一部は図中に表示していない。

(4)

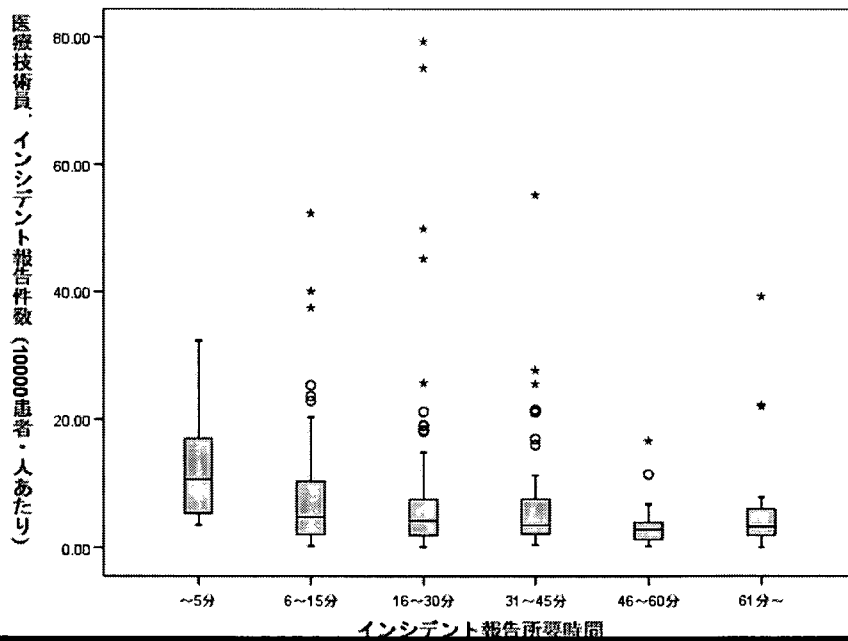
## 医療技術員によるインシデント報告

### 報告デザイン

- ✓ 医療技術員によるインシデント報告件数 (10000患者・日あたり)
  - ▶ 開設者
  - ▶ インシデント報告の平均的な所要時間
  - ▶ インシデント報告形式 (媒体 & 報告フォーマット)
  - ▶ インシデント報告に対する免責性確保の状況
  - ▶ インシデント報告に基づく改善策立案件数 (6ヶ月100床あたり)

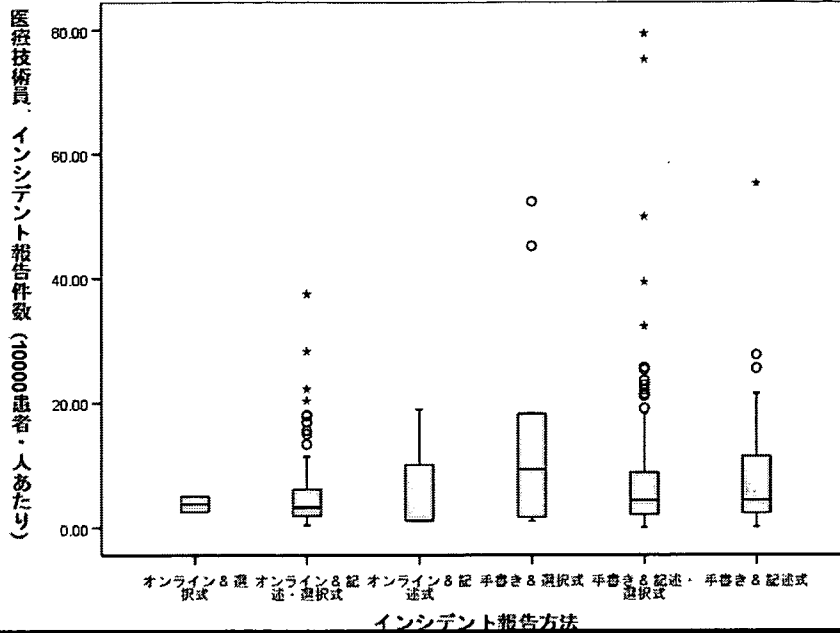


	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 医療法人等その他	94	10.85	6.94	12.08	0.43	79.33
2 公的病院	82	5.27	3.50	6.58	0.13	49.87
3 公立病院	58	7.05	3.43	11.87	0.21	75.15
4 国・国立病院機構等	30	6.88	3.93	9.99	0.62	52.33
5 大学病院	32	4.55	2.42	6.91	0.00	28.25
合計	296	7.48	3.92	10.29	0.00	79.33



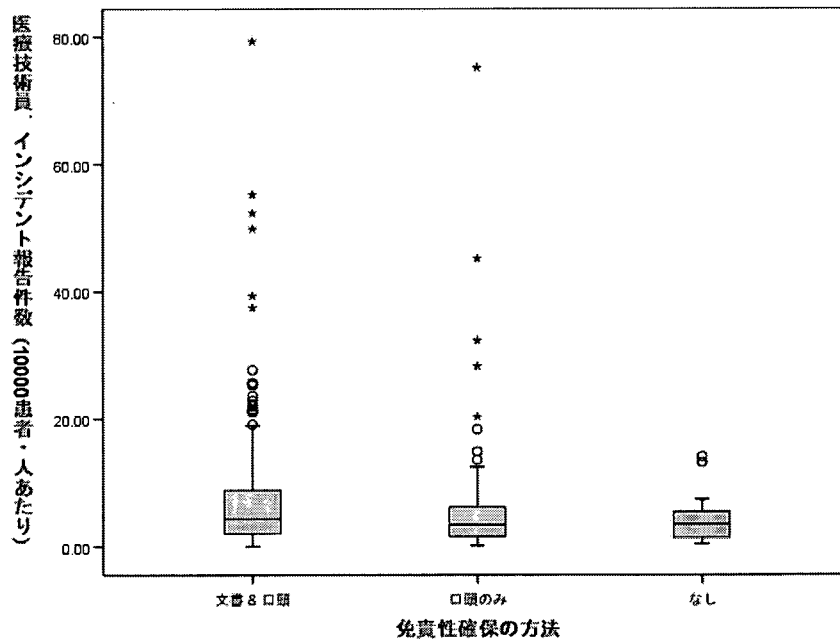
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 ~5分	9	13.56	10.65	10.64	3.56	32.27
2 6~15分	83	7.75	4.78	9.04	0.27	52.33
3 16~30分	97	7.92	4.20	12.82	0.13	79.33
4 31~45分	47	7.65	3.51	9.93	0.43	55.22
5 46~60分	15	3.95	2.83	4.52	0.21	16.62
6 61分~	32	5.71	3.28	7.92	0.00	39.35
合計	283	7.54	3.85	10.45	0.00	79.33





インシデント報告方法

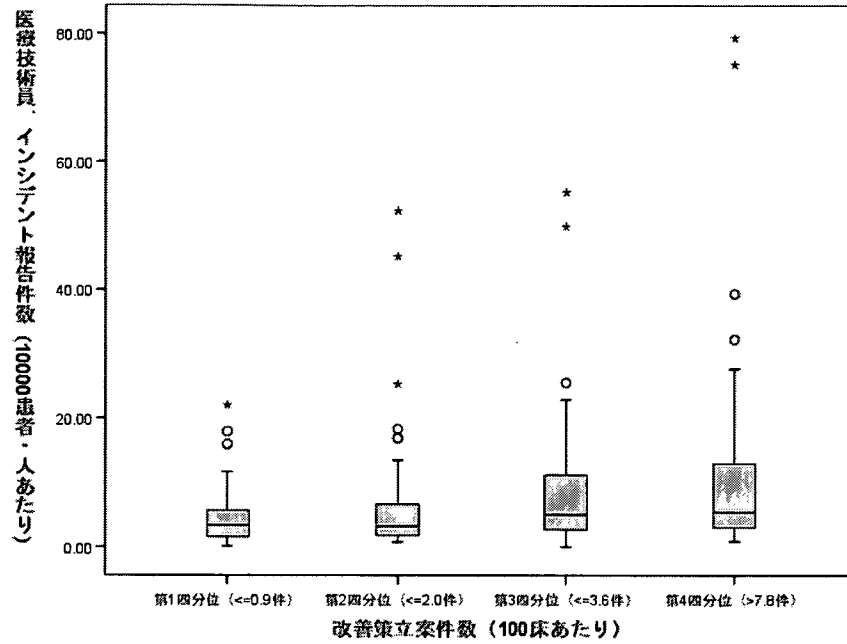
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 オンライン & 選択式	2	3.77	3.77	1.74	2.54	5.00
2 オンライン & 記述・選択式	99	5.44	3.30	6.18	0.39	37.47
3 オンライン & 記述式	3	7.07	1.18	10.32	1.04	18.98
4 手書き & 選択式	10	15.52	9.30	18.45	1.02	52.33
5 手書き & 記述・選択式	152	7.86	4.30	11.02	0.00	79.33
6 手書き & 記述式	24	9.27	4.40	12.49	0.13	55.22
合計	290	7.38	3.76	10.21	0.00	79.33



免責性確保の方法

	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 文書 & 口頭	207	7.84	4.34	10.05	0.00	79.33
2 口頭のみ	65	6.98	3.40	11.71	0.13	75.15
3 なし	22	4.26	3.51	3.74	0.43	14.08
合計	294	7.38	3.92	10.14	0.00	79.33

注: 外れ値の一部は図中に表示していない。



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 第1四分位 (≤0.9件)	62	4.29	3.41	4.19	0.13	22.03
2 第2四分位 (≤2.0件)	62	6.40	3.28	9.23	0.75	52.33
3 第3四分位 (≤3.6件)	59	8.70	5.04	10.58	0.00	55.22
4 第4四分位 (>7.8件)	65	10.50	5.44	14.53	0.87	79.33
合計	248	7.49	3.76	10.58	0.00	79.33

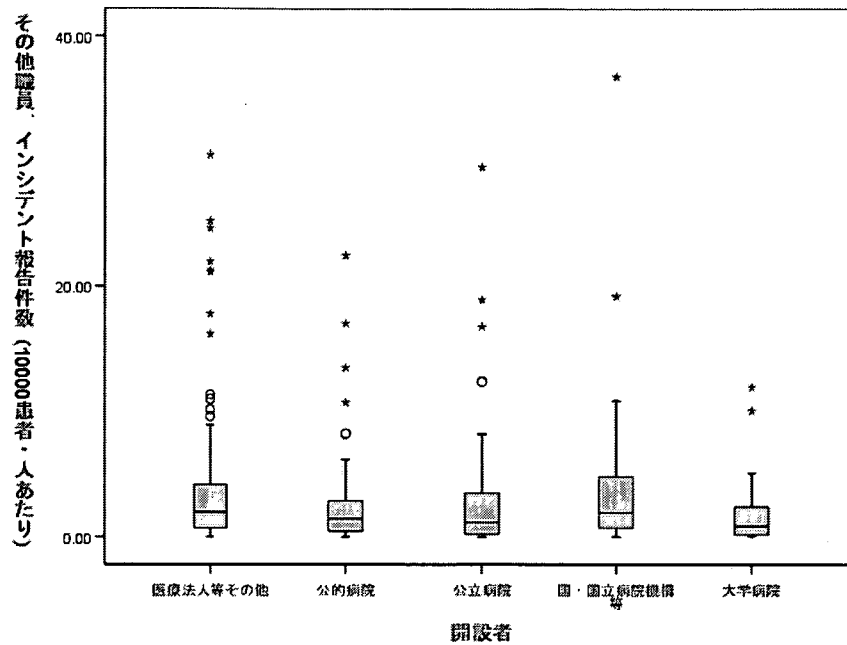
注: 外れ値の一部は図中に表示していない。

(5)

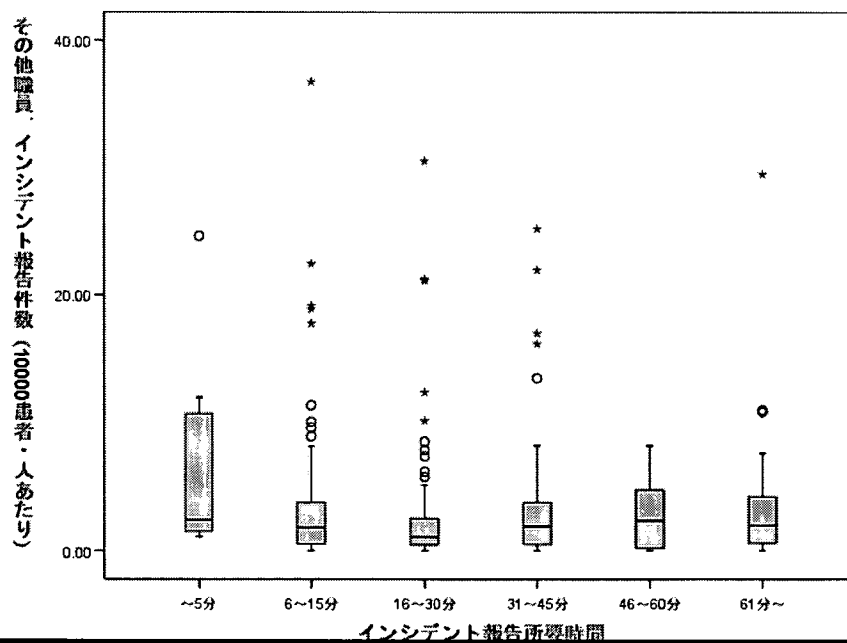
## その他職員によるインシデント報告

### 報告デザイン

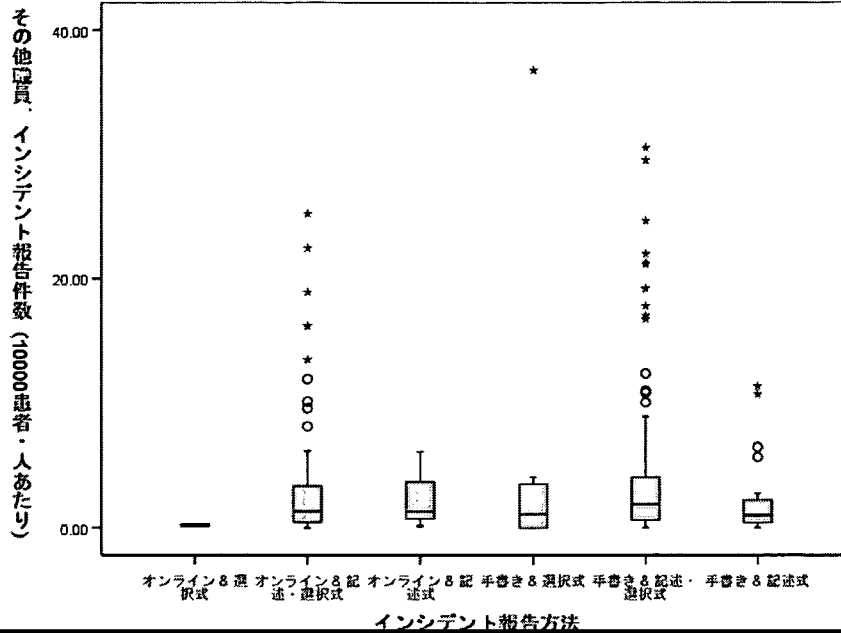
- ✓ その他職員によるインシデント報告件数 (10000患者・日あたり)
  - 開設者
  - インシデント報告の平均的な所要時間
  - インシデント報告形式 (媒体 & 報告フォーマット)
  - インシデント報告に対する免責性確保の状況
  - インシデント報告に基づく改善策立案件数 (6ヶ月100床あたり)



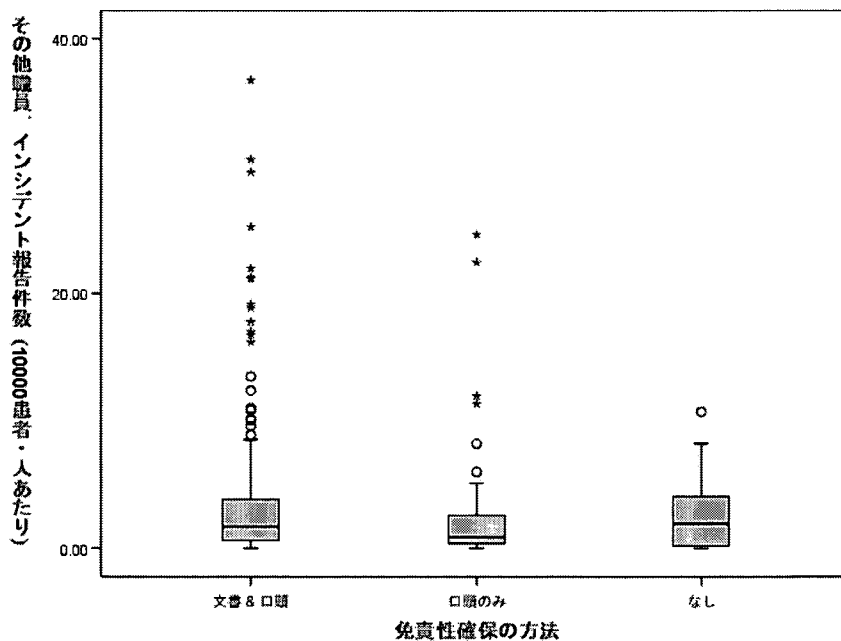
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 医療法人等その他	93	4.32	1.96	6.23	0.00	30.50
2 公的病院	82	2.47	1.45	3.62	0.00	22.44
3 公立病院	60	2.99	1.14	5.18	0.00	29.52
4 国・国立病院機構等	30	4.36	1.92	7.25	0.00	36.74
5 大学病院	32	1.94	0.85	2.74	0.07	11.94
合計	297	3.29	1.52	5.27	0.00	36.74



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 ~5分	9	6.83	2.41	7.86	1.13	24.62
2 6~15分	84	3.56	1.80	5.75	0.00	36.74
3 16~30分	97	2.56	1.06	4.58	0.00	30.50
4 31~45分	48	3.73	1.91	5.69	0.00	25.21
5 46~60分	15	2.61	2.35	2.49	0.00	8.19
6 61分~	32	3.61	1.97	5.52	0.00	29.52
合計	285	3.31	1.55	5.31	0.00	36.74



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 オンライン & 選択式	2	0.19	0.19	0.12	0.11	0.28
2 オンライン & 記述・選択式	99	2.90	1.31	4.52	0.00	25.21
3 オンライン & 記述式	3	2.50	1.28	3.16	0.13	6.09
4 手書き & 選択式	10	4.86	1.08	11.29	0.00	36.74
5 手書き & 記述・選択式	153	3.69	1.85	5.56	0.00	30.50
6 手書き & 記述式	24	2.26	0.98	3.14	0.00	11.33
合計	291	3.31	1.51	5.32	0.00	36.74



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 文書 & 口頭	207	3.63	1.69	5.69	0.00	36.74
2 口頭のみ	66	2.51	0.86	4.48	0.00	24.62
3 なし	22	2.62	1.91	2.83	0.00	10.69
合計	295	3.30	1.52	5.29	0.00	36.74

注:外れ値の一部は図中に表示していない。



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 第1四分位 (<=0.9件)	62	2.56	1.32	4.02	0.00	21.97
2 第2四分位 (<=2.0件)	63	2.73	1.19	4.07	0.00	25.21
3 第3四分位 (<=3.6件)	60	4.18	2.19	6.86	0.00	36.74
4 第4四分位 (>7.8件)	64	4.34	1.62	6.46	0.00	29.52
合計	249	3.45	1.51	5.53	0.00	36.74

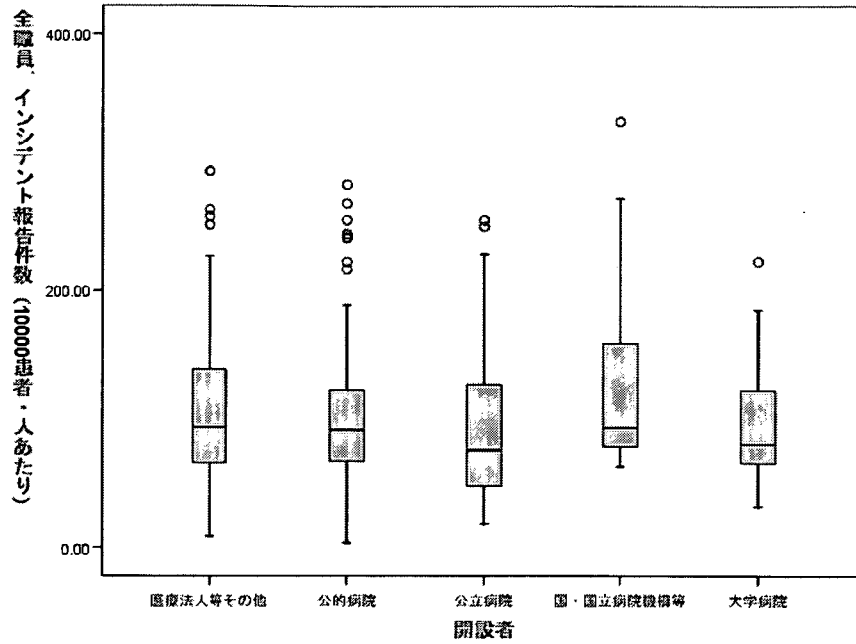
注: 外れ値の一部は図中に表示していない。

(6)

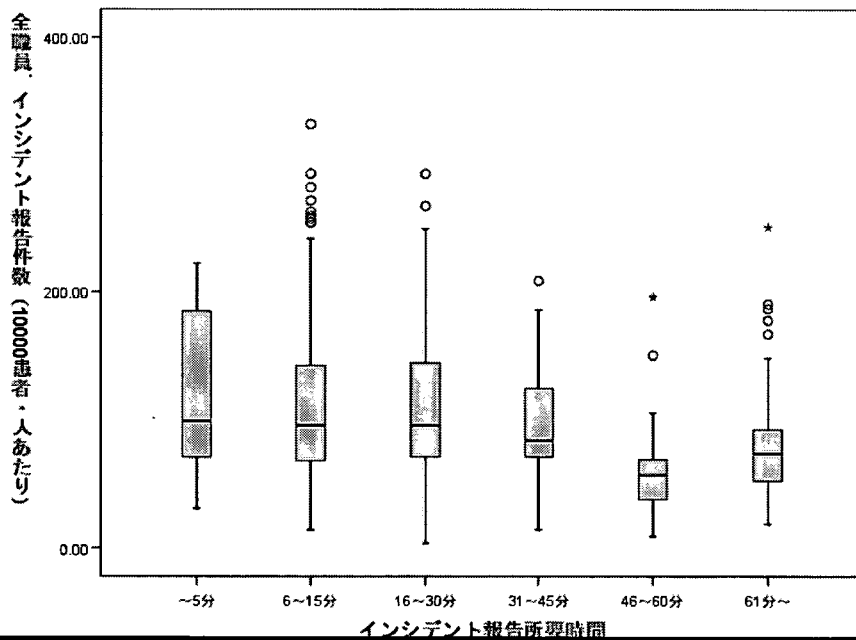
## 全職員によるインシデント報告

### 報告デザイン

- ✓ 全職員によるインシデント報告件数 (10000患者・日あたり)
  - ▶ 開設者
  - ▶ インシデント報告の平均的な所要時間
  - ▶ インシデント報告形式 (媒体 & 報告フォーマット)
  - ▶ インシデント報告に対する免責性確保の状況
  - ▶ インシデント報告に基づく改善策立案件数 (6ヶ月100床あたり)

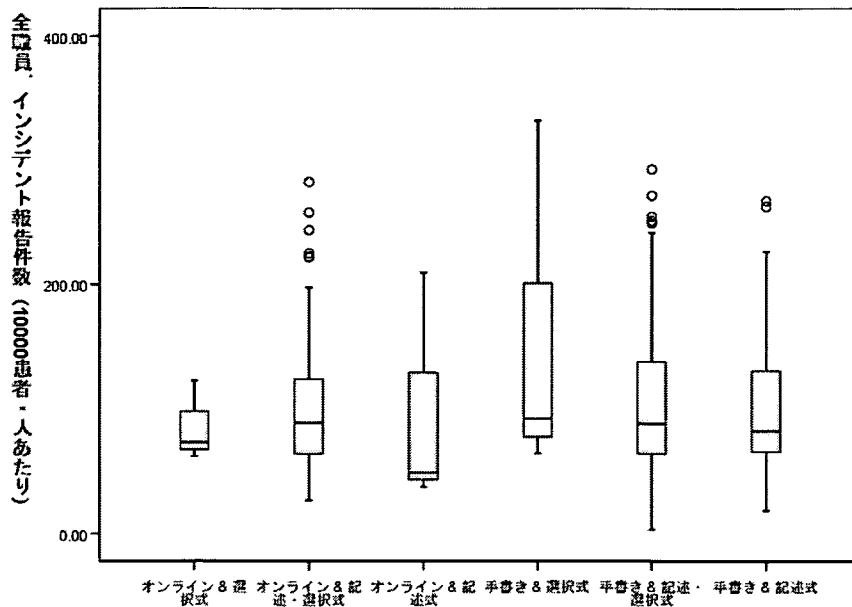


	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 医療法人等その他	107	108.11	93.69	61.64	8.81	292.93
2 公的病院	87	101.63	91.17	58.88	3.21	282.19
3 公立病院	63	94.09	75.68	60.47	18.58	254.67
4 国・国立病院機構等	33	127.71	93.20	68.44	62.94	331.69
5 大学病院	39	94.50	80.55	43.96	32.16	222.52
合計	329	104.06	88.11	60.02	3.21	331.69



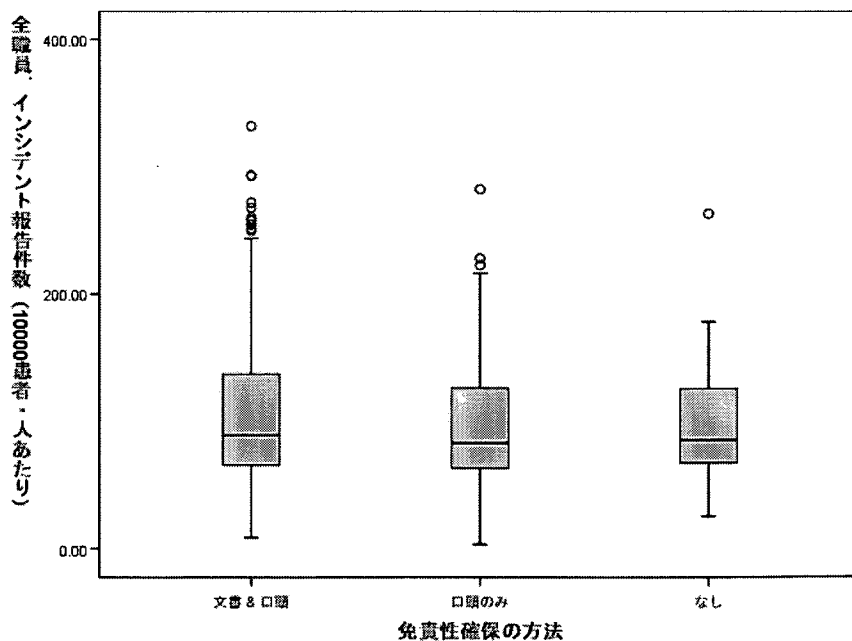
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 ~5分	9	121.06	98.69	67.47	30.83	222.52
2 6~15分	93	115.54	95.37	69.47	13.81	331.69
3 16~30分	109	111.90	95.30	58.99	3.21	292.81
4 31~45分	54	94.30	83.72	39.48	14.27	208.86
5 46~60分	15	65.75	56.63	50.59	8.81	196.37
6 61分~	35	86.77	73.43	53.04	18.58	251.28
合計	315	105.23	88.44	59.96	3.21	331.69





インシデント報告方法

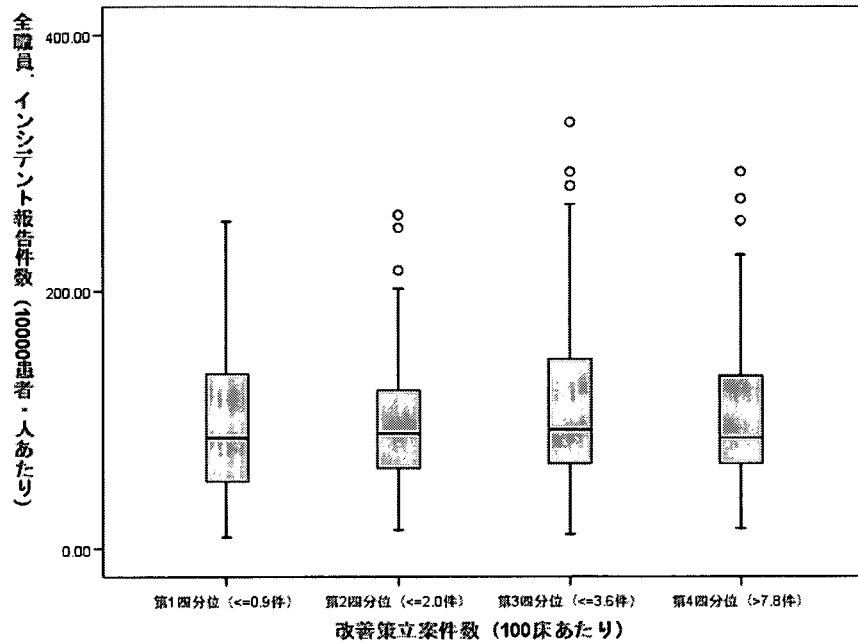
	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 オンライン & 選択式	3	85.80	72.99	32.32	61.84	122.57
2 オンライン & 記述・選択式	107	99.19	88.97	53.01	26.83	282.19
3 オンライン & 記述式	3	98.51	48.84	96.13	37.38	209.31
4 手書き & 選択式	11	143.37	92.20	94.24	64.14	331.69
5 手書き & 記述・選択式	167	103.88	88.29	58.64	3.21	292.81
6 手書き & 記述式	30	108.64	82.58	66.68	18.58	267.52
合計	321	103.89	88.11	59.38	3.21	331.69



免責性確保の方法

	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 文書 & 口頭	229	106.71	88.97	62.28	8.81	331.69
2 口頭のみ	74	96.85	82.77	55.48	3.21	282.19
3 なし	24	99.34	85.26	50.90	25.67	262.97
合計	327	103.94	88.11	60.02	3.21	331.69

注: 外れ値の一部は図中に表示していない。



	度数	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1 第1四分位 (≤0.9件)	68	97.90	85.85	59.10	8.91	254.57
2 第2四分位 (≤2.0件)	71	98.30	89.39	52.34	14.27	259.62
3 第3四分位 (≤3.6件)	66	115.17	92.32	70.95	11.08	331.69
4 第4四分位 (>7.8件)	68	108.13	85.78	61.63	15.43	292.81
合計	273	104.73	88.29	61.28	8.91	331.69

注: 外れ値の一部は図中に表示していない。

## **E. 地域中核病院の診療機能と 質・医療費の評価に関する研究**

## E. 地域中核病院の診療機能と質の評価に関する研究

### 【目的】

限りある医療資源を効率的に利用するために、地域レベルで医療機能の評価・構築することは、現在日本の保健・医療提供制度にとって重要な課題のひとつである。高齢化および医療技術の高度化に伴い医療費が自然増を示す中、地域内の医療機関の役割や機能を妥当的に評価し、それを有機的で効率的な医療提供システムの開発に繋げることが必要である。

一方情報技術の発展により、病院診療・在宅医療・訪問診療・介護や診療報酬請求などに関する情報が次々と電子化されている。診断群分類に基づく包括評価の基礎調査データ（以下 DPC データ）はこの代表例であり、様々な臨床情報や薬剤・検査の利用情報、医療費に関する情報を含む。これらのデータを診療マネジメントや医療提供システムの評価、根拠に基づくシステムや政策立案に活用すると共に、医療のパフォーマンスや安全に関する情報を開示することが、期待されている[1]。

このような背景を踏まえ本研究は、市民の日常生活や受療行動に密接に関係する医療圏を、地域中核医療機関を核とする医療提供のネットワークの視点で捉え、地域医療機能の充実度の評価方法と、それを向上に結びつける方法の開発を主たる目的とする。とりわけこの研究は、地域の医療ネットワークの中核に位置する急性期病院の機能評価に着眼し、これらの病院の診療パフォーマンスを経済・医療の質の二つの面から評価する。本研究では、DPC データを利用した様々な診療パフォーマンス評価を試みた。本研究の具体的な目的を以下に示す。

- (1) 病院の診療機能を、在院日数と入院医療費の関係から評価する。評価の単位は、①病院全体、②各診療科、③各診療領域、④各疾患である。その際、病院による疾患や年齢分布、治療内容、重症度の違いを考慮して在院日数および医療費を評価する。すなわち DPC14 桁分類を利用して、患者特性を調整した在院日数/あるいは調整医療費（Observed・expected ratio : O/E 値）を評価する。
- (2) 病院の診療機能を、「難治疾患」・「がん」・「手術」が実施された症例が占める割合から評価する。
- (3) 病院の医師数と診療パフォーマンス（平均在院日数・入院医療費）との関係を、病院全体あるいは診療科毎に検討する。
- (4) 症例数が多く医療費が高い二つの疾患を対象として、診療パフォーマンス評価のための様々なプロセス指標・アウトカム指標を開発する。今回は「急性心筋梗塞」および「脳梗塞」を対象とする。
- (5) DPC データから薬剤の利用に関する情報を抽出し、使用頻度や使用量を病院毎・診療科毎に評価する。本研究では血液製剤の使用、および周術期の予防的抗生剤投与を検討した。使用の適切性評価のために、患者リスクで調整した使用量を評価するとともに、使用の適切性との関連を検討する。